

WEリーグ監督フォーラム実施報告

「世界一の女子サッカー」の実現に向けて、WEリーグが世界一のリーグとなるよう監督同士でコミュニケーションを深める機会として実施。

■ 日時 : 2024年7月13日 (土) 12:30~14:00

■ 会場 : TKP金沢新幹線口会議室

■ 参加者 :

WEリーグ各クラブ監督

狩野倫久 (WEリーグテクニカルアドバイザー)

高田春奈 (WEリーグチェア)

小林美由紀 (WEリーグ理事)

(オブザーバー : JFA女子委員会 佐々木委員長、能仲副委員長)

※監督フォーラム後、「MS&ADカップ2024 ~能登半島地震復興支援マッチ がんばろう能登 ~なでしこジャパン (日本女子代表) 対 ガーナ女子」を視察

WEリーグ監督フォーラム実施報告

【アジェンダ】

- 監督フォーラムの意義
- 狩野TA、各監督自己紹介
- 昨シーズン振り返り・意見交換
 - 欧米、WEリーグ過去シーズンとのデータ比較
 - 魅力あるサッカーとは
- 情報共有
 - フィジカルフィットネスの取り組み
 - 世界のサッカートレンド
- 今シーズンにむけて抱負（各監督より）



振り返り（要点）

- ✓ どのチームも攻守にアグレッシブに仕掛け、ゲームにおけるシチュエーション・局面での激しい攻防が多く見られた。その中で、各クラブ・チーム、監督の思考するコンセプトによるスタイルなど、特徴も見られたシーズンであった。
- ✓ 攻撃から守備に移る切り替えでのカウンタープレス、そしてハードワークと強度の高いプレッシングはどのチームにも見られた。それらをかき潜るアンチプレッシング、ビルドアップと崩し、特に、サイド攻撃からのクロス、ゴールの前の攻防は WEリーグの大きな魅力と言える。
- ✓ どの試合もアディショナルタイムを含む最後まで互いにゴールへ向かう姿勢から一進一退の攻防により、年間通して最後まで目を離せない試合が多く見られた。
- ✓ 年々ハイプレッシング傾向にあり、インテンシティを求めた中でもファウル数、警告/退場数が他国より圧倒的に少なく、フェアプレーは日本の良さであり特徴。



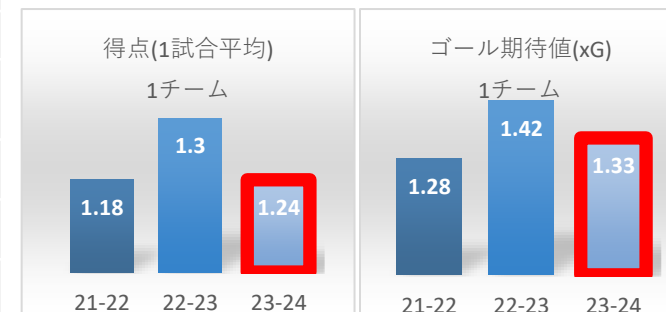
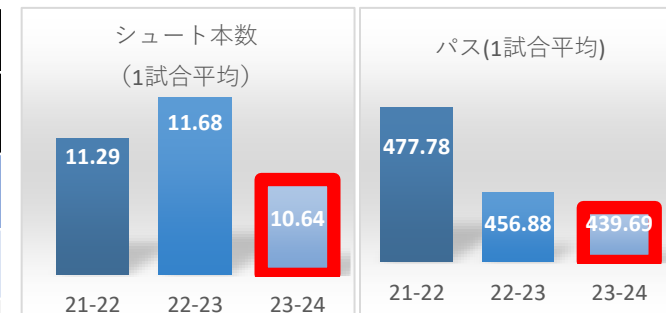
データで振り返る2023-24WEリーグ -攻撃-

サイドを起点とした攻撃（アタッキングサードでの崩し）、クロス成功率・精度を伴うピンポイントクロスやコンビネーションからのクロスは、WEリーグの魅力。

Attacking

WE

	得点 (1チーム 1試合平均)	ゴール 期待値 (xG)1チーム	シュート 本数 (1チーム 1試合平均)	クロス (1試合平均 / 成功率)	パス (1試合平均 / 成功率)	F1/3への パス本数 (1試合平均 / 成功率)	深い位置への パス成功 (1試合平均)	ボール ロスト (1試合平均)	ボールロスト位置 (1試合平均)		
									D1/3	M1/3	F1/3
JPN 23-24	1.24	1.33	10.64	13.47 / 35%	439.69本 / 77%	54.15 / 56%	5.88	133.43	21.66 16%	58.42 44%	52.70 39%
23-24 ※7試合時点	1.18	1.33	10.90	13.85 / 33%	453.19本 / 77%	55.06 / 57%	5.53	135.95	21.80 16%	60.59 45%	52.83 39%
JPN 22-23	1.30	1.42	11.68	12.97 / 33%	456.88本 / 78%	56.56 / 58%	6.57	131.36	21.56 16%	56.18 43%	52.75 40%
JPN 21-22	1.18	1.28	11.29	12.53 / 33%	477.78本 / 79%	59.39 / 61%	7.30	128.74	21.96 17%	53.53 42%	52.60 41%
USA 2024 ※11試合時点	1.37	1.52	10.05	11.96 / 31%	350.86本 / 78%	40.51 / 61%	5.43	102.09	20.36 20%	40.03 39%	41.04 40%
ENG 23-24	1.65	1.72	10.67	13.09 / 33%	401.25本 / 81%	43.68 / 64%	7.32	103.12	20.71 20%	40.22 39%	41.43 40%
FRA 23-24	1.81	1.75	10.61	11.85 / 32%	372.51本 / 78%	43.36 / 61%	5.59	107.20	18.21 17%	43.44 40%	44.80 42%
GER 23-24	0.88	0.85	10.91	12.82 / 31%	366.19本 / 77%	44.61 / 58%	5.07	112.96	19.99 18%	46.13 41%	45.99 41%



ボールを繋ぎ攻撃し崩していくスタイルと、よりダイナミックにゴールへ直結したプレーやゴール前でのシュートの精度を上げていく必要がある。

時間帯別得点比率



76分以降の得点が大幅に増加

アディショナルタイムを含む最後まで互いにゴールへ向かう姿勢から、年間通して最後まで目を離せない試合が多く見られた。

データで振り返る2023-24WEリーグ -守備-

年々、High Pressing傾向にあり、Intensityを求めた中でもファウル/警告数は少なく、フェアなプレーは日本の良さであり特徴と言える。

Defending

	プレス インテンシティ (PPDA)	ファウル (1試合平均)	イエロー カード (1試合平均)	レッド カード (1試合平均)	ボール 奪取 (1試合平均)	ボール奪取位置(1試合平均)			デュエル(1試合平均)	
						D1/3	M1/3	F1/3	守備時	ルーズ ボール
.WE JPN 23-24	9.29	7.03	0.42	0.01	102.57	40.55 40%	47.97 47%	14.05 13%	70.58	36.38
23-24 ※7試合時点	9.26	6.72	0.51	0.01	105.63	41.17 39%	50.27 48%	14.18 13%	73.47	35.58
JPN 22-23	9.80	6.20	0.41	0.02	101.25	41.25 41%	46.05 45%	13.95 14%	73.30	33.96
JPN 21-22	10.10	5.78	0.22	0.005	102.82	42.40 41%	45.44 44%	14.98 15%	73.82	41.64
USA 2023 ※11試合時点	8.30	9.45	1.46	0.04	77.78	31.92 41%	32.36 42%	13.50 17%	67.49	24.73
ENG 23-24	9.75	7.56	1.38	0.05	81.10	33.15 41%	34.00 42%	13.95 17%	69.97	26.80
FRA 23-24	9.39	9.86	1.49	0.07	83.89	36.30 43%	35.53 42%	12.06 14%	82.78	27.01
GER 23-24	8.64	10.27	0.86	0.02	84.70	35.61 42%	36.87 43%	12.22 14%	75.05	31.06

